

感染症ニュース！

令和7年2月号

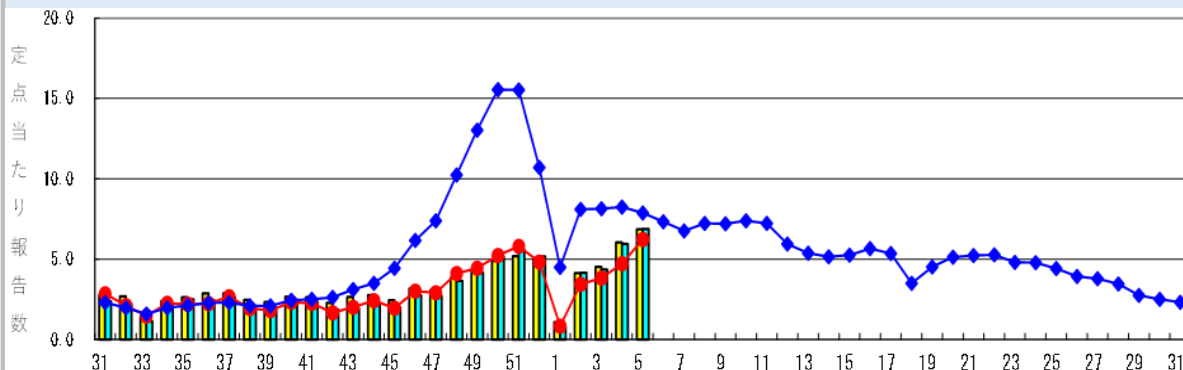
前月の神奈川県内の発生動向および国内外で気になる感染症を掲載しております。

★ 1月の注目感染症

■ 全国 ■ 神奈川県 ● 県域 ◆ 県域過去平均

① 感染性胃腸炎

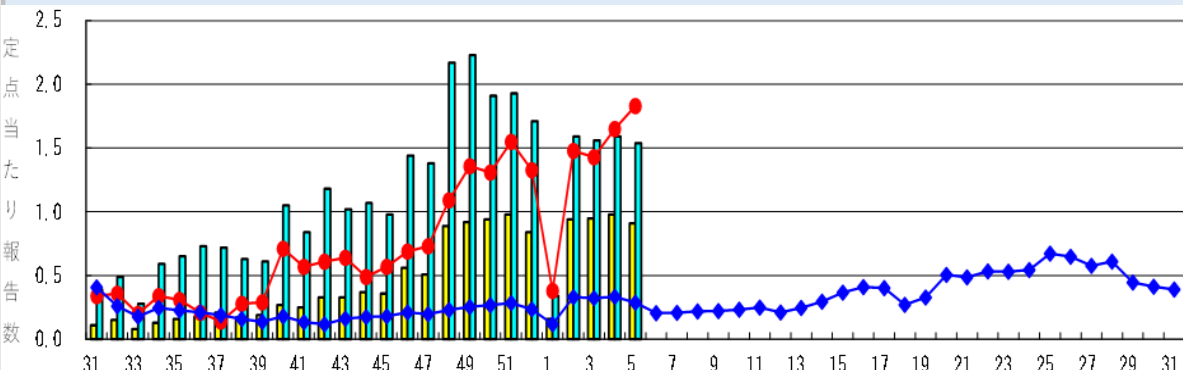
* 県域とは、神奈川県内の市町村のうち横浜市、川崎市、相模原市を除いた地域です。



1月は、1歳及び10-14歳を中心に報告がありました。特に定点当たり報告数が多い地域は、
①厚木保健福祉事務所管内
②平塚保健福祉事務所秦野センター管内
③平塚保健福祉事務所管内でした。

週

② 伝染性紅斑

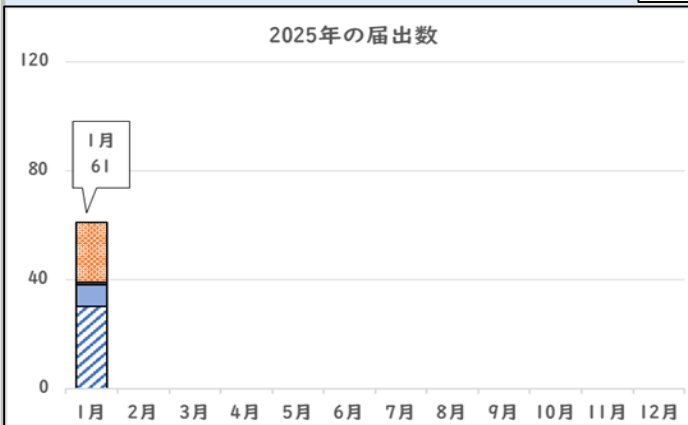


1月は、4～6歳を中心に報告がありました。特に定点当たり報告数が多い地域は、
①茅ヶ崎市
②藤沢市
③厚木保健福祉事務所管内でした。

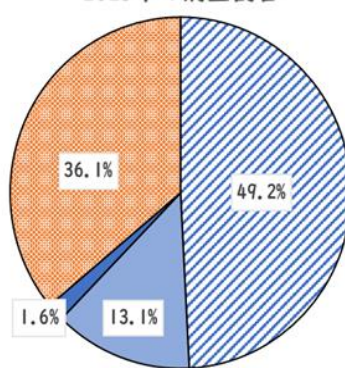
週

★ 結核の発生動向（2月3日時点）

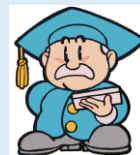
■ 肺結核 ■ 肺外結核 ■ 肺結核+肺外結核 ■ 無症状病原体保有者



2025年の病型割合



1月の届出数は61例でした。
2025年の累計患者数は61例となりました。
(現在、疑似症患者の届出はありません。)



衛生
博士

★ 国内・海外で気になる感染症をご紹介します

・2025年1月10日、WHOはタンザニア連合共和国内の1つの地区でマールブルグ病(MVD)の疑い例に関する報告を受け取った。1月11日現在、2つの地区から9人の疑い例が報告されており、検査結果は保留中である。接触者については経過観察中とされている。今回報告があった地区では2023年3月に初のMVD発生があり、同地区にはオオコウモリ等の人獣共通感染症の宿主が生息している。なお、2023年の発生は約2か月続き、6人の死亡を含む9人の症例が報告されていた。(WHO <https://www.who.int/> 参照)

神奈川県衛生研究所 感染症情報センター が作成しました。

お問合せはこちらまで↓

TEL:0467-83-4400(代表) FAX:0467-89-5211(企画情報部)



感染症情報
センターHP

衛生

ちゃん

